



西村クリニック 第15号

発行元
 四條畷市楠公1丁目14番6号
 西村クリニック
 072-862-3001



ご卒業おめでとうございます



早いもので未曾有の大災害をもたらした東日本大震災からもう五年経ちました。大震災による津波の被害に加えて福島での原発事故が相次ぎ、完全復興にはまだまだほど遠い状況であり、東北で被害に遭われた方々には改めてお慰め申しあげます。

二〇一一年三月一三日の日曜日。東日本大震災の二日後、私は献血の仕事のお手伝いをするため赤十字血液センターに行きました。

その日献血にやって来た人は、従来の日曜日の二倍以上のものばり、夕方五時終了の予定が七時を過ぎても終了しませんでした。

中でも二〇〜三〇歳前後の若い人が特に多く、災害の後血液が不足するだろう、自分達も何か協力しなければと、仲間を誘ってやってきたとの事でした。

阪神大震災の直後と同様に多くの若者が献血にやってきたとの事であり、また災害直後よりボランティア活動を始めた若者も多く、世間でよく言われている様に「今時の若者はドライで自己中心的で役に立たん」というのとは大違いで、これからの将来に向けて純粋でひたむきな若者のパワーを垣間見た様な気がしました。

院長 西村 章

新人職員♡紹介

私は、コンビニが1つしかない三重県のすごく田舎なところで育ちました。大学がきっかけで大阪に出てきて親戚がいる四條畷に引っ越しましたが、友達ほぼ愛知県や三重県に進学・就職していて最初はすごく寂しかったです。今では友達もできたくさんの人に出会って、四條畷が住みやすくてとても好きになりました。

人と接する事や楽しい事が大好きですが、1人で散歩をしたり音楽を聴きながらポーッとしてるのも好きです。

医療事務の仕事はほぼ初めてなので、毎日わからないことだらけで緊張していますが、新しい事を覚えるたび楽しいです。

これから皆様と色々お話もできたらいいなと思っています。よろしく願いいたします。

新人職員♡紹介

当院では毎日沢山の患者様が来院され、リハビリ機器の施述を受けていただいています。

近所にお住まいから通院されている方々もおられ、患者様同士でのおしゃべりが交わされる和やかな雰囲気のリハビリ室です。先日は生憎の雨模様で、リハビリに来られる方々もまばら。来院された方が「今日は少なくて寂しいな」と残念そうにおっしゃりました。スタッフもいつもの患者様達の話し声が聞こえないとどこか物寂しく感じられます。翌日はからりと晴れ、施述を受けながら話す患者様の笑顔を見られ、とても明るい空気の一日となりました。

今後も患者様が通いながら笑顔になれるリハビリ室を目指し、居心地の良いクリニックを目指して参ります。



編集後記

もうすぐ桜が咲きます♪

去年は大阪城公園で花見をしました
 今年はどこがお勧めですか？

楽しいスペイン語♪講座♪

1

Que te mejores./Que se mejore.

お大事に

特定健診

後期高齢者健康診査
 H27年度受診券の
 有効期限は
 3月31日までです
 お済みですか？



西村クリニック 第15号



先日は卒業式でした。

制服を着るのも教室に入るのもイスにすわり机に向かうのも“最後”の日でした。

思い返せばたくさんの思い出があります。

そんな気持ちに浸りながら最後のホームルームの時間を過ごしました。

そこで担任の先生からとても素敵なお話を聞いたので紹介したいと思います。

先生は学年だよりに“幸せになる方法”を書いていました。冒頭には安定した仕事をみつけ収入を得ることなど、現実的なことがかかれていましたがまとめにあたる文がありませんでした。その文は私たちにこの時間に話そうと思いついておいたとのことでした。

先生は最後の授業をするからよく聞くようにと私たちに話を始めました。

「脳科学において、幸せを感じる物質は大きく2つあってセレトニンとオキシトシンです。

セレトニンというのは感動した時にでるそうです。

だから夕焼け空が綺麗だなあ、この花綺麗だなとかどんなことにも小さな事にも感動できる人でありなさい。そしてそのセレトニンを倍増させるにはその感動をシェアすることです。家族や友達、恋人などいろんなひとに伝えることが大切です。(さっそく私は伝えさせてもらっています…笑)

続いてオキシトシンとはどんな時にでるのか。

それは他人のために何かをしたときです。これもすごく大事なことです。

この物質は子をもつお母さんにも密接に関係しています。研究結果では子供がインフルエンザにかかって看病が必要な時に母親にはこれがでていてインフルエンザにかかりにくくなるそうです。

感動すること、感動をシェアすること、他人を思いやること。これはとても大切なことです。そして昔からある宗教などの考え方によくにています。これらの考え方が欠乏してしまつて戦争がおきたりするんやな。悲しいよな。君らは絶対に忘れちゃいかんよ」これが先生の最後の授業です。

とても大事な話を聞かせてもらいました。

そのあと、私たちはみんなで書いたメッセージや思い思いの絵などを日直日誌に似せて製本したものを先生にプレゼントしました。

先生はとても喜んでくれました。オキシトシンがでました。

私はその日、風邪で微熱があり式にでるだけでもやっとで、友達と写真をとったりお世話になった先生方にお礼も言えない程でとても残念でした。後日挨拶にいきたいと思います。3年間ありがとうございました。



最後まで読んでいただきありがとうございます <m()m>

全文を掲載させていただきました

今後もみなさまの原稿をお待ちしております

四條畷 西村クリニック

検索

